

# 令和6年度 福祉保健活動拠点事業報告書

## 施設名

横浜市都筑区福祉保健活動拠点

## 事業計画

### 1 場の提供について

#### (1)場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

ボランティア登録団体及び拠点利用団体交流会を通じ、団体間の活動のジャンルを超えたネットワークづくりを推進しました。交流会では、普段は交流の無い団体の活動の様子を聞くことができたという好評でした。

なお、窓口での相談を通じて、利用団体の現状把握及びニーズ把握を日常的に行いました。

日常的な窓口対応や交流会等を通じて、登録団体のニーズ把握に努め、いただいたご意見を反映していくことで継続的な利用団体支援に取り組ましました。

各団体が相互につながりを持ち、活動を広げていくことができるように、チラシの配架などで情報提供をしました。

#### (2)拠点の利用促進に関すること

令和6年度の稼働率は32.9%と、前年度(30.6%)より稼働率がアップしています。職員が拠点を使用した場合の貸出実績の計上方法についてルールを再度確認し記入漏れのないようにしました。今後も全体的な稼働率の向上に向け、他の区民利用施設と利用状況の共有をし、利用団体のニーズ把握に努めた上で、稼働率の向上に向けた取り組みを検討します。

利用案内を各部屋に掲示するとともに、各部屋の空き状況についてホームページで情報提供を行い、利用者が利用しやすい環境整備を進めました

平日	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	227	203	195	87.2	77.4	77.0
多目的研修室	138	153	30	55.6	58.8	12.3
点字製作室	34	20	2	14.0	7.8	0.8
録音室	24	8	0	9.9	3.3	0
対面朗読室	88	96	38	35.0	35.0	15.6

土曜	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	60	32	17	96	64	32

多目的研修室	40	35	34	78	68	66
点字製作室	8	7	0	14	14	0
録音室	0	0	0	0	0	0
対面朗読室	30	18	0	58	34	0

日祝	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	51	64	—	74.6	85.7	—
多目的研修室	33	41	—	49.2	36.5	—
点字製作室	9	5	—	14.3	7.9	—
録音室	0	0	—	0	0	—
対面朗読室	4	13	—	6.3	20.6	—

### (3) 拠点のサービスの向上に関すること

利用者アンケート（窓口満足度調査）を実施し、121名から回答を得て、結果を館内に掲示しました。幅広いご意見をいただけるよう、区社協窓口来館者や拠点登録団体にもアンケートにご協力いただきました。受付が奥にありわかりづらいなどのご意見をいただきましたので、来館者への積極的な挨拶を心がけるよう職員に周知しました。

「ご意見箱」は引き続き2箇所に設置し、よりご意見をいただきやすくしています。

利用団体交流会では、予約方法変更についての確認、ポスタープリンターなどの拠点設備についての説明を行いました。

### (4) 利用調整会議等の開催

拠点利用団体交流会（利用調整会議）は、ボランティアセンター登録団体と拠点登録団体合同で開催し、分野を超えた活動団体同士のネットワークづくりを進めました。

利用団体からのご意見を反映し、小グループで分野を超えた交流ができるよう意見交換の時間を設け、団体同士の活動連携を促進できるよう働きかけました。今後も意見交換の場を設けて欲しいというご意見が多いので、グループワークは継続していきたいと思います。

新年度より予約方法を変更するため、団体へ変更理由の説明、今後の予約方法について周知しました。

開催実績	1回
参加団体数	15団体

## 2 ボランティア業務

### (1) ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

ボランティア団体交流会の開催にあたっては、登録団体にとどまらず、各種助成対象団体や地区社協関係団体等に広く呼びかけを行い、幅広く情報の収集及び提供に努めました。

個人登録者の登録更新に合わせてアンケート調査を実施しました。その結果、以前に登録したボランティア登録者の現状を把握することができ、コーディネートした活動の継続の有無を確認することができました。

単発の活動は活動終了後、継続活動は活動開始後3カ月を目途に、依頼者・ボランティア双方にフォローアップを行い、活動状況や課題の把握を行いました。

ボランティア団体交流会で集約・分析した結果を基に、次年度の講座・交流会等の企画を行っています。また、企画にあたっては、ボランティアセンター運営委員会やボランティア・市民活動等分科会等に諮り、関係者・機関の声を反映させ、令和6年度は傾聴ボランティア講座を開催しました。

### (2) ボランティアに関する広報、情報提供

- ・ボランティア情報紙「ボランティアどっと来い！都筑」を2回発行し、登録グループの代表者や登録個人ボランティアへの送付、講座等参加者への配布を行い、ボランティア活動に関する情報提供を行いました。また、関係機関に配架や区民まつり等のイベントで来場者への配布などを通し、より広く多くの人の目に触れるよう努めました。

- ・ホームページによるボランティア情報等の提供を行いました。

- ・メールマガジンの発行による情報提供を行いました。(月1回発行)

- ・拠点内に、掲示板およびボランティア情報コーナーを設置し、拠点利用者に随時情報提供を行いました。

### (3) ボランティアに関する相談、紹介

原則として窓口に来所いただき対面でご相談の対応を行い、依頼者ニーズや活動希望の把握に努めています。

個人ニーズへの紹介に関しては事前の顔合わせ、必要に応じて初回活動への同行等を行い、双方が安心して活動に入ることができるよう支援しています。活動開始後3カ月を目安に、依頼者・ボランティア双方にフォローアップを行い、活動状況や課題の把握を行いました。(再掲)

相談には、地区担当者や関係機関、ボランティアグループ等と連携し、近隣での見守り体制づくりにつなげられるよう意識して取り組みました。

移動情報センターとの合同会議の開催やコーディネート記録を共有するなど、連携を密にしています。その結果、ボランティア登録者にガイドボランティア登録を紹介することができ、障害のある方の外出付添い等の相談ニーズの充足が向上されました。

ボランティア保険の案内、助成金などの活動資金の相談、団体運営に関する相談など、ボランティア活動に関する各種相談への対応を行いました。

登録人数	個人	新規	115名
		累計	408名
	団体	新規	43団体

	累計	163 団体
調整件数		1,306 件
依頼件数		37 件
紹介人数		87 名

#### (4) ボランティアに関する育成・支援・講座開催

- 1 各種ボランティア講座の開催及び開催支援  
 傾聴ボランティア講座「はじめての傾聴講座」  
 日 時：10月22日(火)13:00～15:00  
 講 師：傾聴ボランティア・モモ代表  
 内 容：傾聴の基本、対応方法／ワーク
- 2 青少年へのボランティア啓発  
 若年層に福祉・ボランティアや障害等について知ってもらうため、学校等の福祉教育プログラムへの相談対応やコーディネートを行いました。(15件)
- 3 交流会の開催  
 ボランティアグループ等が交流できる場を設定し、情報共有や課題の発見、ボランティアのモチベーションの維持・向上を図りました。(8月・1月)
  - ① 第1回交流会 参加者 27名  
 日 時：8月7日(水) 13:30～15:00  
 内 容：勉強会「インクルーシブ教育について」  
 講 師：神奈川県教育委員会インクルーシブ教育推進課
  - ② 第2回交流会 参加者 32名  
 日 時：1月15日(水) 13:30～15:00  
 対 象：ボランティア・市民活動等分科会加盟団体  
 福祉保健活動拠点「かけはし都筑」登録団体  
 ボランティアセンター登録団体・個人  
 内 容：ボランティアセンターについて／参加者交流

### 3 他の関連組織とのネットワーク

#### (1) 関連組織及び地域との連携

ボランティアのコーディネートにあたり、個人登録者や登録グループの紹介では解決困難な事例については移動情報センターやあんしんセンター、及び地区担当者を通じて地区社協等へ相談するなど職場内連携を意識して対応しました。また、地域ケアプラザや障害者地域活動ホームなどの相談機関にも相談し、身近な地域での支え合いの構築を意識して取り組みました。

講座などの事業実施にあたっては関係機関や地域団体に協力を呼びかけ、講師や体験の受入れ等を担っていただくなど連携して実施しました。

また区民活動センターと定期的に情報交換を行い、ボランティア・市民活動支援に関する情報共有を行いました。

## (2)地域の福祉保健課題への理解と協力

### 1 地域福祉保健計画の推進

第4期計画に基づき、ボランティア・市民活動等分科会でも活動方針を検討し、計画の推進に向けた話し合い、交流会の企画を行いました。ボランティア活動の魅力の発信や、新たな担い手の育成等に取り組みました。次年度も、計画の柱3にもある幅広い区民が参加できるような企画の実施を検討します。また第5期計画策定に向けて検討しました。

### 2 地域ケアプラザ等との連携

ボランティアのコーディネーターにあたり、個人登録者や登録グループの紹介では解決困難な事例については、地区社協をはじめとする地域組織や地域ケアプラザ等の相談機関にも相談し、共に解決策を検討することを意識しています。

## 4 その他

### (1)職員体制、育成

#### 1 職員体制

常勤職員1名、非常勤職員6名を配置し、諸室の利用受付やボランティア相談等に対応しています。

#### 2 職員育成

横浜市社協「人材育成計画」に基づき、職員の経験年数に応じた基幹研修や課題別研修に参加しました。非常勤職員に対しては、相談対応能力の向上のため、横浜市社協等が行う外部研修に参加し、接遇・マナーの向上に努めています。人権研修を全職員対象として実施しました。

## 5 施設の適正な管理・運営について

### ア 施設の維持管理について

#### <開館時間>

○月曜日から土曜日 午前9時から午後9時

○日曜日、祝日は午前9時から午後5時

※年末年始（12月29日から1月3日まで）、定期清掃日（年4回）を除く。

#### <建物・設備の保守点検、小破修繕>

○自家用電気工作物保安管理業務

- ・定期点検 1回/月
- ・臨時点検 必要の都度

○空調（室外）保守

- ・ガスヒートポンプ空調機点検 1回/年
- ・エアハンドリング点検フィルター清掃 2回/年
- ・循環ポンプ点検 2回/年
- ・冷暖房切替 2回/年

○空調（室内）保守

- ・空調室内機清掃及びフィルター清掃 2回/年
- ・換気扇フィルター清掃 2回/年

○エレベーター保守

- ・定期点検 1回/3ヶ月
- ・リモート点検 1回/月

<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時点検 必要の都度</li> <li>○消防設備保守管理業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動火災報知設備点検 2回／年</li> <li>・非常放送設備点検 2回／年</li> <li>・誘導灯及び誘導標識点検 2回／年</li> <li>・消火器点検 2回／年</li> </ul> </li> <li>○害虫防除業務 2回／年</li> <li>○蛍光管等交換及び点検 必要の都度</li> <li>○小破修繕</li> </ul> <p>&lt;清掃業務について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常清掃（建物共有部分及び外回り等の清掃） 3日／週</li> <li>○定期清掃（建物内床の表面洗浄ワックス塗布） 4回／年</li> <li>○窓ガラス清掃 4回／年</li> </ul> <p>&lt;警備業務について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防犯サービス 終日</li> <li>○駆けつけ警護サービス 開館時間中</li> <li>○火災監視サービス 終日</li> </ul>
---

<p>イ 苦情受付体制について</p> <p>1 事件・事故への対応について  事件・事故が発生した際には、速やかに区役所、市社協へ報告し、連携しながら対応します。  他区社協運営の福祉保健活動拠点で発生したヒヤリハットや事故情報を共有し、館内の点検により事故を未然に防ぐ取組を継続的に行っています。</p> <p>2 防災への取組について  危機管理マニュアルを整備するとともに、犯罪や災害発生時に協力体制が取れるよう日頃から地域との協力関係を築きました。</p>
---

<p>ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について</p> <p>1 事件・事故への対応について  事件・事故が発生した際には、速やかに区役所、市社協へ報告し、連携しながら対応しています。他区社協運営の福祉保健活動拠点で発生したヒヤリハットや事故情報を共有しました。また、館内を定期的に点検することで、事故を未然に防げるよう取り組んでいます。</p> <p>2 防災への取組について  危機管理マニュアルを整備するとともに、犯罪や災害発生時に協力体制が取れるよう日頃から地域との協力関係を築きました。</p> <p>3 災害時について  大規模災害時に「災害ボランティアセンター」の役割を担うことから、都筑区役所、災害ボランティアネットワーク、各地域防災拠点と連携した対応ができるよう、シミュレーション訓練を実施しました。</p>
--

## エ 個人情報保護の体制及び取組について

### 1 個人情報保護の体制

「横浜市個人情報保護に関する条例」及び「本会の保有する個人情報の保護に関する規程」に基づき、個人情報を取り扱います。

「個人情報保護に関する方針」及び事業ごとの「個人情報取扱業務概要説明書」を窓口に整備します。また、「個人情報保護に関する方針」はホームページにも公開しています。

### 2 研修及び自主点検の実施

職員会議等で個人情報保護や情報セキュリティの研修を実施し、意識啓発及び体制整備に努めました。

また、個人情報保護のための自主点検を全職員で実施し、意識向上に努めました。

## オ 環境への配慮及び取組について

### 1 ゴミの発生抑制に関する取り組み

利用者には、ゴミの持ち帰りに協力いただくことでゴミの削減に取り組んでいます。資料作成時には、両面印刷を推奨します。また、会議ではすべての資料を印刷するのではなく、必要な資料のみの印刷だけにし、紙の使用量の削減に取り組みました。

### 2 再利用・再使用に関する取り組み

事務所内での印刷物は個人情報に配慮しながら、可能な限り裏紙を利用しています。プリンタートナーをリサイクル再生品にするとともに、プリンター製造業者による資源再利用プロジェクトに協力しました。

館内にはインクカートリッジ回収箱を設置し、利用者へも周知、協力を依頼しました。

### 3 リサイクルに関する取り組み

ごみゼロルート回収に参加し、資源再利用化に向けた分別廃棄やごみの減量化に努めました。

### 4 温室効果ガス排出抑制に関する取り組み

空調の室温を夏季 28℃、冬季 19℃に設定し、利用者にも可能な限り協力を依頼しました。また、使用していない部屋の電気、空調をオフにすることなどにより、節電に努めました。

## 令和6年度 横浜市都筑区福祉保健活動拠点 収支予算書及び報告書

## 収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>指定管理料</b>	<b>20,439,808</b>	<b>146,244</b>	<b>20,586,052</b>	<b>20,586,052</b>	<b>0</b>	横浜市より
<b>自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）</b>			0		0	
<b>雑入</b>	<b>100,000</b>	<b>0</b>	<b>100,000</b>	<b>125,220</b>	<b>△ 25,220</b>	
印刷代	100,000		100,000	125,220	△ 25,220	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>20,539,808</b>	<b>146,244</b>	<b>20,686,052</b>	<b>20,711,272</b>	<b>△ 25,220</b>	

## 支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>11,329,275</b>	<b>106,784</b>	<b>11,436,059</b>	<b>10,544,288</b>	<b>891,771</b>	
給与・賃金	9,916,275	106,784	10,023,059	9,030,595	992,464	
社会保険料	600,000		600,000	655,777	△ 55,777	
通勤手当	600,000		600,000	624,746	△ 24,746	
健康診断費	10,000		10,000	7,570	2,430	
勤労者福祉共済掛金	3,000		3,000	6,000	△ 3,000	
退職給付引当金繰入額	200,000		200,000	219,600	△ 19,600	
<b>事務費</b>	<b>665,000</b>	<b>0</b>	<b>665,000</b>	<b>1,890,587</b>	<b>△ 1,225,587</b>	
旅費	1,000		1,000	420	580	交通費
消耗品費	80,000		80,000	157,311	△ 77,311	事務消耗品
会議滞在費			0	0	0	
印刷製本費			0	82,500	△ 82,500	使用申請書増刷
通信費	136,000		136,000	49,553	86,447	郵送料、電話代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	30,000		30,000	83,699	△ 53,699	ノートPC
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	8,820	1,180	施設賠償保険
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料	10,000		10,000	11,605	△ 1,605	振込手数料
リース料	398,000		398,000	554,479	△ 156,479	コピー機、印刷機、AED、SECOM防犯 ペルリース料、共用部分管理料
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	942,200	△ 942,200	消費税等
<b>事業費</b>	<b>214,200</b>	<b>0</b>	<b>214,200</b>	<b>117,528</b>	<b>96,672</b>	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	214,200		214,200	117,528	96,672	
<b>管理費</b>	<b>8,231,333</b>	<b>39,460</b>	<b>8,270,793</b>	<b>8,158,869</b>	<b>111,924</b>	
光熱水費	4,000,000		4,000,000	4,236,922	△ 236,922	光熱水費
清掃費	1,500,000		1,500,000	1,711,426	△ 211,426	清掃、剪定、排水柵清掃
修繕費	300,000	39,460	339,460	339,460	0	
機械警備費	490,000		490,000	487,872	2,128	セコム警備費
設備保全費	1,941,333	0	1,941,333	1,349,837	591,496	
空調衛生設備保守	400,000		400,000	435,600	△ 35,600	空調切替174,240×2、フィルター清掃
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	150,000		150,000	163,553	△ 13,553	電気設備点検163,553
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	1,391,333		1,391,333	750,684	640,649	自動ドア保守、昇降機保守、マット交換等
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	33,352	△ 33,352	コピー機保守料
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
<b>その他</b>			<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>支出合計</b>	<b>20,439,808</b>	<b>146,244</b>	<b>20,586,052</b>	<b>20,711,272</b>	<b>△ 125,220</b>	
<b>差引</b>	<b>100,000</b>	<b>0</b>	<b>100,000</b>	<b>0</b>	<b>100,000</b>	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	214,200	0	214,200	117,528	96,672	
自主事業 収支	△ 214,200	0	△ 214,200	△ 117,528	△ 96,672	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。